

【基本方向8】 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

施策項目 29 地域の教育力の向上 30 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進	第2期 教育振興 基本計画 基本施策 との対応	19 教育研究環境の整備や安全に関する教育の充実など学校における児童生徒等の安全の確保 20 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備推進	評価 概ね計画どおり
まとめ ・学校支援活動や放課後子ども教室のスタッフ等を対象とした研修会の実施により、地域学校協働活動の取組の推進 ・学校における安全教育の普及及び地域ぐるみで児童生徒等の安全を守る体制整備の推進するため、地域住民・保護者・関係機関との連携体制の構築など学校の安全管理体制のモデルを示した「北海道実践的安全教育モデル」を作成			

施策項目 29 地域の教育力の向上

—●— 目標値 (太字) %…進捗率
 ■…実績値

指標の状況	①放課後子供教室など放課後の活動拠点が整備されている市町村 (%)	H29目標 100%	②学校支援地域本部事業及びこれに相当する取組を実施する市町村 (%)	H29目標 100%	④地域住民ボランティアが補完的な学習サポートをしている市町村 (%)	H29目標 50%
	<p>〈市町村〉 60.9%</p>		<p>〈市町村〉 67.0%</p>		<p>〈市町村〉 153.0%</p>	
	参考指標 (a) 青少年の体験活動推進事業 (シニアリーダーコース) の修了者数 (人) 〈修了者数〉 H27: 14, H28: 14, H29: 14		参考指標 (b) (a)の修了者のうち、地域活動に参画した人数 (人) 〈参加人数〉 H27: 14, H28: 14, H29: 14			
施策の推進状況	【Plan】 平成29年度の主な施策			【Do】 主な実績		
	■子どもの活動拠点づくりの促進			<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室等子どもの活動拠点の設置促進 (設置市町村の割合 60.9%) (目標指標①) 「放課後子供教室」のコーディネーターや教育活動推進員、教育活動サポーター等を対象とした研修会の実施 (7箇所、計11回、延べ898名参加) 学校・家庭・地域が連携し地域における教育支援活動等の総合的な在り方の検討を行う「北海道地域学校協働活動推進会議」の開催 (3回開催、構成員: 学識経験者、教職員、企業関係者等12名) 保健福祉部と連携して、放課後子供総合プランの担当者を対象に地域学校協働活動推進研修会の開催 (道内4ブロック) 		

【Plan】平成29年度の主な施策		【Do】主な実績					
施策の推進状況	<p>■地域の教育力向上に向けた取組の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部の設置促進（設置市町村の割合 67.0%）（目標指標②） ・コミュニティ・スクールの導入促進（基本方向5目標指標④、H29.4.1現在：高等学校3校、小中義務157校、幼稚園4園導入→ H30.4.1現在：高等学校11校、小中義務388校、幼稚園8園導入） ・地域の社会資源を活用した土曜日における多様な学習プログラムを実施する市町村の取組を支援（43市町村） ・地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動や子ども未来塾の関係者を対象とした研修会の開催（道内4ブロック） ・地域人材を活用した家庭教育支援チーム等による地域ニーズに合わせた家庭教育に関する相談・支援活動の実施（16市町村） ・学校職員、市町村教委職員や地域住民等を対象に道内における実践事例の発表や協議を行うCS協議会の開催（道内4ブロック） ・コーディネーター養成研修会の開催（道内4ブロック） ・実践事例集の作成・配付（3月） ・CSアドバイザーの派遣（12回） ・CS推進ワーキングチーム会議の開催（3回） ・今後のCS導入予定の時期や導入校数を把握するとともに、未導入市町村への働きかけ（9月、1月） ・地域住民等の協力により、学習が遅れがちな児童生徒への学習支援に取り組む「子ども未来塾」の設置促進（実施：70市町村） 					
	【Check】施策の課題	【Action】今後の方向					
	<p>●子どもの活動拠点づくりの促進 〔分析・背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が策定した「放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる子どもの活動拠点づくりが求められている ・市町村における子供の活動拠点の整備率は約6割となっている（目標指標①） <p>〔課題〕</p> <p>子どもの居場所づくりとして一体型を中心とした放課後子供教室及び放課後児童クラブをはじめ、地域の実情に応じた計画的な整備等が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部の設置促進 ・地域学校協働活動のコーディネーター等を対象に実施している研修会において、一体型の放課後子供教室に取り組んでいる先事例を紹介し、地域の実情に応じた取組の推進の働きかけ ・保健福祉部と連携し実施している研修会において、放課後児童クラブと放課後子供教室を一体型で実施するメリットを紹介するとともに、道内の好事例についての実践発表を行い、地域の実情に応じた設置、運営の在り方の検討の働きかけ 					
	<p>●学校を核とした地域の教育力向上 〔分析・背景〕</p> <p>少子高齢化などにより地域社会の結び付きが弱まりつつあることから、学校と家庭・地域が連携・協働し、それぞれの役割を自覚した活動が求められている</p> <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の学校教育活動への積極的な参画や支援を促進する体制整備が必要 ・道内におけるコミュニティ・スクールの先行事例を取りまとめ、その意義や成果を普及するとともに、道立学校の導入を促す必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部の設置促進 ・コミュニティ・スクールの効果的な導入・運営方法について普及啓発し、学校と地域の連携・協働による持続可能な推進体制の構築を図るため、14管内で推進協議会を開催 ・学校と地域を調整するコーディネーターや地域連携担当教職員を対象とした研修会の充実 ・市町村が主催するCS研修会に北海道CSアドバイザーの派遣 ・道立学校におけるCS導入に向けたワーキングチーム会議を継続して実施し、道内外の既導入校の設置メリット等を情報共有するなどして、道立学校の導入を促進 ・特に、特別支援学校においては、通学区域の広域性や特別支援学校における先行例の少なさ等が課題であることから、ワーキングチーム会議において解決策の検討 					
総合評価	定量評価	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均
やや遅れ	やや遅れ	1	0	0	2	2	2.0
	定性評価	(定性評価)					
	—						

施策項目30 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進

—●—目標値(太字) %…進捗率
■…実績値

指標の状況	⑥通学路の安全マップを作成・活用している学校(%) H29目標 100%		⑥PTAや地域住民のボランティアなどによる巡回パトロールを行っている小・中学校(%) H29目標 100%	
	<小学校> 103.2% 	<中学校> 100.8% 	<小学校> 100% 	<中学校> 100%
	参考指標 (c)家庭、地域の関係機関・団体と協力要請や情報交換を行う会議や具体的な取組を行っている学校(%)			
<小学校> 		<中学校> 		<高校>
施策の推進状況	【Plan】平成29年度の主な施策		【Do】主な実績	
	■地域ぐるみの安全体制の整備推進		・地域と連携した取組等を掲載した安全教育実践事例集の道教委HPでの公開 ・学校や通学路をパトロールし、子ども達を見守るスクールガード養成講習会の開催(参加80名) ・スクールガードリーダーの配置(24市町村、27人) ・スクールガードリーダー連絡協議会の開催 ・交通安全、防犯、防災、応急手当に係る研修会の実施(「学校安全教室(兼管内学校安全推進会議)」3か所教職員95名参加、「管内学校安全推進会議」14会場 教職員448名参加、学校安全教室と兼ねて開催した3会場、95名を含む。) ・地域と連携した取組等による、高校生の自主的な学校安全活動の促進(全ての道立高等学校) ・地域住民・保護者・関係機関との連携体制の構築など学校の安全管理体制のモデルを示した「北海道実践的安全教育モデル」の作成、配布 ・ホームページへの掲載や学校への働きかけ等を通じた学校安全推進資料や実践事例集の活用促進 (学校安全推進資料: 研修で活用 小 70.0%、中 70.3%、授業で活用 小 66.8%、中 67.1%) (実践事例集: 研修で活用 小 60.4%、中 60.0%、授業で活用 小 52.8%、中 53.9%) ・通学路の交通安全の確保に向けた人材確保等の体制整備について市町村教育委員会への働きかけ	
【Check】施策の課題		【Action】今後の方向		
●地域全体で子どもたちを守り育てる体制の整備〔分析・背景〕 ・通学路安全マップは全ての学校で作成されているが、交通事故や性犯罪等の前兆とみられる声かけやつきまとい等の事案が依然として発生している ・一部の地域でボランティアの不足等によりスクールガードリーダーの配置や交通安全等に係る研修会の実施等、地域と連携した体制づくりが進んでいない 〔課題〕 ・通学路安全マップを活用した地域の実情に応じた実践的な安全教育の促進が必要 ・地域全体で子どもたちを守り育てるネットワークづくりの支援や地域の人材確保が必要		・引き続き、「北海道実践的安全教育モデル」の活用について、学校及び市町村教育委員会への働きかけ ・引き続き、ホームページへの掲載や学校への働きかけ等を通じた学校安全推進資料や実践事例集の活用促進 ・引き続き、スクールガードリーダーの活動の活性化を図る情報提供の促進 ・引き続き、通学路の交通安全の確保に向けた人材確保等の体制整備について市町村教育委員会への働きかけ		

施策の推進状況	総合評価	定量評価	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均	
	計画どおり	計画どおり	4	0	0	0	0	0	4.0
		定性評価	(定性評価)						
	—								